

# 選択科目「果樹」における栽培管理学習の必要性を実感させる指導の工夫

— 作業の目的や手順を明確にする協調学習を通して —

農業班 宮野 直之 (高等学校教諭)

## 研究の概要

**単元**  
摘果・せん定

**指導方法**  
協調学習の導入

**ねらい**  
栽培管理の必要性の実感

### 生徒の現状

- 栽培管理の目的や手順が理解できない
- 栽培管理を「やらされている」意識が強い

### 原因

授業の内容が理解できない・・・

コースの必修科目だから・・・

学習意欲の低下

### 協調学習の有効性

- 学習意欲の向上
- 自分の学習についての責任感の増大
- 協調的技能の向上
- さまざまな見方を認めたり、考えたりする能力の向上

\*『アイデアブック』(日本協同教育学会、共同学習の恩恵(11項目)より抜粋)

## 研究の実践

見直し1 見直し2

### エキスパート法

グループに分かれて資料を読んだりまとめたりして、1つの課題についていくつかの異なる視点から学習する

### グループ学習の実施

果樹の栽培管理に対する興味関心が高まる

### ジグソー活動

学習したことを持ち寄って新しいグループをつくり、持ち寄った知識を組み合わせ合わせて新しい課題を解く

### 新しいグループで情報交換

作業の必要性が明確になり、意欲的に作業に取り組める

見直し3

### クロストーク

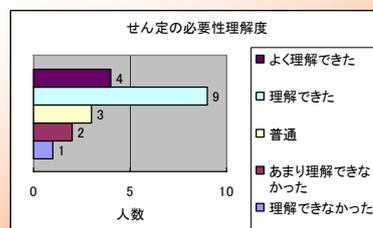
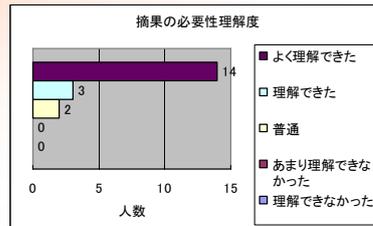
判明した答えを教室全体で交流させ、各自が様々な答えの共通点や違いを考えることで理解を深める

### 収穫物の比較、検討

栽培管理の必要性を実感することができる

## 成果

- 生徒の学習意欲を高めるのに有効な手だてである
- 栽培管理に生徒が意欲的に取り組むようになった
- 協調学習は、生徒に栽培管理の必要性を実感させるために有効な手だてである



## 課題

- 単元により有効性に格差が生じるため、あらゆる単元において有効性を高められるように指導方法の改善が必要

